

## ポリオプラス

### 【日本各地でのポリオ根絶活動に感謝】

今年も、10月24日の世界ポリオデーに合わせ、日本各地のクラブ・地区によってポリオ根絶活動が実施されました。子どもたちをポリオから守るためのご尽力、ありがとうございます！

10月24日の時点で、日本から40のクラブより活動情報を[ポリオ根絶支援サイト](#)よりお寄せいただき、世界全体では4,000近くのご活動をご紹介いただきました。当サイトに寄せられたご活動のほかにも、世界・日本の多くのご活動やイベント、また個人によるポリオ根絶の取り組みも多く、その活動内容は多様性を増しています。ご活動の一部をご紹介します。

記事の続きは[こちら](#)

#### [2022年世界ポリオデーのオンライン特別プログラム](#)

<関連リンク>

[人生の70年をポリオとともに](#)

[世界ポリオデーの特別プログラム](#)

[ユニークなだけじゃない、世界各地のポリオ根絶活動](#)

### 【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2022年 1月1日～ 11月22日	2021	2020	2019
常在国	パキスタン	20	1	84	147
	アフガニスタン	2	4	56	29
非常 在国	モザンビーク	8	0	0	0
	マラウイ	0	1	0	0
世界合計		30	6	140	176



#### [My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

#### 寄付総額 世界上位3ヶ国

	2022年11月18日現在	
アメリカ	\$	23,691,097
韓国	\$	10,232,305
日本	\$	5,395,589

#### 2022-23年度

##### 目標(世界)

- ・年次基金:1億3,500万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:1億ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:4,500万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):4億3,000万ドル

##### 目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
- 年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
- ポール・ハリス・ソサエティの推進
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へのDDF寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

##### 日本の状況

冠名基金数 242

AKS会員数 58

PHS会員数 1271

## 【進むべき道は明らか:世界の保健リーダーがポリオ根絶について語る】

ロータリーとWHOの共催イベント「World Polio Day 2022 and Beyond」にグローバルヘルス分野のエキスパートが出席

10月21日と22日、ジュネーブ(スイス)の世界保健機関(WHO)本部で開かれた国際ロータリーとWHOの共催イベント「World Polio Day 2022 and Beyond」で、グローバルヘルス分野のリーダーがポリオ根絶への自信を示し、最前線で活動するヘルスワーカーたちを称えました。

このイベントでは、対面式の参加者とオンライン視聴者にポリオ根絶の最新情報が伝えられたほか、母子の健康改善のために予防接種以外にも地域社会で取り入れることのできる解決策について話し合われました。

開会セッションでは、テドロス・アダノムWHO事務局長が「ポリオ根絶は手の届くところにある」と述べ、[世界ポリオ根絶推進活動\(GPEI\)](#)の努力によってポリオの症例が99.9%削減されたことに触れました(1988年に35万件だった症例数が昨年はわずか6件)。しかし、今年はパキスタンで20件、アフガニスタンで2件の症例が出ており、状況が不利となっていることも指摘。野生型ポリオウイルスが常在するのはこの2カ国のみである一方、米国でポリオの患者が出たことや、英国の下水からポリオウイルスが検知されたことは、「ポリオが世界から根絶されない限り、引き続き世界の脅威である」ことを示しています。マラウイとモザンビークでも、昨年と今年、ポリオの症例が確認されています。記事の続きは[こちら](#)

## お知らせ

### 【トイレは命を救う】

2022年「世界トイレの日」のキーワードは「地下水」

きれいで安全なトイレを使えるのは日本では普通のことですが、世界にはトイレが使えずに屋外で排泄する人が数百万人おり、それが原因となって感染症で毎日何千人もの子どもが命を落としています。

毎年11月19日、国連によって定められた「世界トイレの日」には、トイレの大切さを認識し、安全な衛生設備が使えない数十億の人びとに関する理解を深め、行動を起こすことが呼びかけられています。この問題は、公衆衛生だけでなく、教育、経済、環境にも深くかかわっています。特に多くの女性や少女にとって、安全に管理された衛生設備が利用できないことによる屈辱、不便さ、危険により、社会への全面的な参加が妨げられています。

「世界トイレの日」にちなみ、今回はトイレにまつわるロータリー会員による取り組みをピックアップしてご紹介します。記事の続きは[こちら](#)

### 【地球のためにできること】

今月エジプトでCOP27(国連気候変動枠組条約第27回締約国会議)が開催され、気候変動と環境汚染問題に世界の目が注がれています。日本では国や自治体、企業、市民レベルでSDGsの取り組みが進んでおり、ロータリーでも草の根レベルでさまざまな活動が行われています。

COP27に出席した国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長は先日、国連環境計画(UNEP)のインガー・アンダーセン事務局長とナイロビで対談しました。その中でアンダーセン事務局長は、「地域社会が健全であるには、環境が健全でなければならない」と述べています。

記事の続きは[こちら](#)

## リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)  
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)  
[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

## <資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[ロータリー財団概要資料](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

## <各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、「各種レポート」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランプ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

ロータリーの運営、イベント、会員に対する新型コロナウイルス(COVID-19)の影響についての情報は[こちら](#)

## 【消えゆくオオカバマダラ生息地の復元を誓う】

2015年6月、当時セントクロイ国立景観河川の管理者だったスタインさんは、ロータリー第5960地区(ミネソタ州とウィスコンシン州の一部)のガバナーエレクトだったマーリーン・ガーグラックさんを国立公園の本部に招き、オオカバマダラやその他の花粉媒介者にとって不可欠な生息地の減少について話し合いました。

スタインさんは、物事を実現させるロータリーの力を知っていました。その数年前、ミネソタ州のスティルウォーター・サンライズ・ロータリークラブでプレゼンテーションを行い、第5960地区と国立公園局が覚書を締結するきっかけを作りました。その結果、セントクロイ川を渡る鳥たちが夏と冬に暮らす、米国中西部とコスタリカの国立公園の間で「姉妹公園」プロジェクトが行われることになったのです。これは、1930年代にロータリアンが考案した[国際平和公園](#)(米国のグレイシャー国立公園とカナダのウォータートン湖国立公園を結ぶ)を参考にしたアイデアでした。記事は[こちら](#)

## 【国境なき調停者団インターナショナルとの協力】

永続的な変化をもたらすためのカギは、人びとを中心とし、地域社会全体が関与するプロセスを通じて紛争に対応することです。これは、ロータリーと国境なき調停者団インターナショナル(MBBI)とのパートナーシップの基礎となっているアプローチでもあります。

MBBIは、世界中のロータリークラブや地区と協力し、平和構築のための活動を行っています。この協力関係において、MBBIは地域社会の協力とエンパワメントに基づく調停プロセスの専門知識を提供する一方、ロータリーは、信頼と信用、地元根ざした知識を提供します。

このパートナーシップでは、困難な状況における対話の機会を設け、その対話を導くことのできるリーダーを養成しています。特に、調停と平和構築における女性のリーダーシップの強化に力を入れています。

記事の続きは[こちら](#)

## 【専門性を生かす:アショカ】

ロータリーとアショカとのパートナーシップは、アショカの社会起業家のビジョンとロータリー会員が持つ地元での専門知識を結び付け、問題を解決し、リーダーを育成し、社会変革をもたらすイノベーションを促進するものです。

アショカのグローバルパートナーシップ管理ディレクターであるティム・シュー氏は、このようなパートナーシップが今こそ必要とされていると話します。人びとは、新型コロナウイルスの世界的流行がもたらす長期的な影響を見極めようとしています。その間にも世界は急速に変化しています。

記事の続きは[こちら](#)

## 【世界中で活躍する「世界を変える行動人」】

世界のプロジェクトをご紹介します。記事は[こちら](#)

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHSパンフレット](#)

[PHS入会フォーム](#)

[PHS認証状テンプレート](#)

[PHSオンライン入会手続き\(ppt\)](#)

国際財団活動資金(WF)に関する  
プレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

[ロータリー賞](#)

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

**例: DDF2+WF1+ゲイツ6=9**

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDFオンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

## 【ウクライナ危機へのロータリーの対応】

2022年3月3日から4月30日までにロータリー災害救援基金に寄せられたすべてのご寄付は、ウクライナ難民またはこの戦争の被災者支援が行われている地域への人道的救援活動に優先して活用されました。

世界中の方々からの温かいご支援のおかげで、ロータリーに1,500万ドル以上の寄付が寄せられました。この資金は、ウクライナでの戦争の影響を受けた人びとに必要な不可欠なサポートを提供する400件以上の補助金に活用されました。

ウクライナ難民またはこの戦争の被災者支援のための、ロータリー災害救援補助金の申請期限は、2022年12月31日でしたが、基金に寄せられた寄付が使い果たされたため受付は終了いたしました。支援活動には、地区補助金やグローバル補助金を引き続きご利用いただけます。

[ウクライナ危機へのロータリーの対応](#)  
[ロータリーによる対応:ウクライナ支援](#)

## 寄付・認証

### 【年末のご寄付について】

本年も残すところ約1ヶ月となりました。銀行振り込みでの年内のご寄付を予定されている場合は、寄付内容の確認と領収証作成の為、**出来るだけクラブの年内最終例会日より前にお振り込みください**。銀行振り込みでの寄付の際には、「[寄付送金明細書](#)」の送付が必要です。「[寄付送金明細書](#)」には寄付者のID番号を忘れずに記入し、お振り込みの前または当日までにご提出をお願いいたします。(寄付送金明細書は、できる限りエクセルファイルのまま、Eメールでお送りください。)



※[寄付送金明細書の未提出や内容の不備、寄付送金明細書とご入金額の不一致などがある場合には、領収証の発行が遅れる場合がございますので、ご了承ください。](#)

※2022年7月1日から12月31日までの公益財団法人ロータリー日本財団へのご寄付の確定申告用領収証は、2023年1月末に発行、クラブへ送付予定です。

※日本事務局は12月29日から1月3日まで年末年始休業となります。

### 【直前年度からのDDF繰り入れについて】

2022-23年度の「地区で利用可能なDDF」レポートに、恒久基金(シェア)の使用可能な収益50%と、2021-22年度からの繰り入れ額が反映されました。1,000ドルを超える地区補助金の返金分もDDFへ順次加算となる見込みです。レポートへの反映に時間がかかり、誠に申し訳ございません。

#### ＜レポート閲覧方法＞

[My ROTARY](#) にログイン →画面上部「ロータリー財団」にマウスを当てて、出てくるメニュー内「各種レポート」をクリック →(画面を下にスクロールし)「地区に関するレポート」の「寄付&認証」内の「レポートを見る」をクリック →「地区で利用可能なDDF」をクリック

#### ＜補助金＞

##### [ロータリーの補助金](#)

授与と受諾の条件

- [地区補助金用](#)
- [グローバル補助金用](#)

##### [補助金による旅行](#)

[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[ローターアクターによるロータリー補助金の利用 よくある質問](#)

#### ＜重点分野＞

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野ガイド](#)

[重点分野別ガイドライン](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)
- [環境](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

#### ＜プロジェクトのヒント＞

[ロータリーショーケース](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[重点分野の担当職員](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

#### ＜オンライン申請＞

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイドグローバル補助金奨学生](#)

[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

#### ＜奨学金＞

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェロシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

#### ＜補助金の参加資格認定＞

[参加資格の認定](#)

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)

[クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)

[クラブの参加資格認定 よくある質問](#)



### 【表彰】

- ロータリー財団功労表彰状 推薦期間:11月～12月
- ロータリー財団特別功労賞 推薦期間:1月～2月

詳細、推薦手続きは、[My ROTARY「各種賞・表彰」](#)より  
お願いいたします。

## 補助金

### 【補助金の標識・表示】

補助金活動において、ロータリー会員は、補助金プロジェクトにおける補助金提唱者とロータリー財団の役割を明確に識別するため、標識・表示をプロジェクト実施地、またはその近接位置に表示しなければなりません。標識の使用については、[ロータリー財団章典](#)の第40.010.2項および、[ブランドリソースセンター](#)にあるガイドラインに従います。詳細は「[ロータリー財団の補助金プロジェクトの表示および「ロータリー」の名称またはロータリーの標章に関する指針](#)」もあわせてご参照ください。

標識にかかる費用に、1,000ドルまで補助金を利用することもできます。

トイレや灌漑設備、病院など建物や区画全体を補助金で支援をしている場合は、入口など目に付くところにプロジェクトの標識を掲げます。寄贈する機器や備品には、提唱クラブのロゴやプロジェクトの標識を直接添付します。小さなものは保管ケースに表示することもできます。寄贈品にロゴだけを添付する場合は提唱者のロゴを使用します。

イベントなどの場合も、イベント名に提唱クラブ名を含めるとともに、「この活動は、ロータリー財団の補助金を利用しています」など補助金を利用していることがわかるような記載を、会場の案内やチラシなどに含めます。奨学生についても、可能な限り講演や論文発表時などに、ロータリー奨学生であることを記載するようにご案内ください。



上:標識の見本

下:使用例



補助金の標識については、見本のようにロータリーの公式ロゴをそのまま使用し、提唱者であるクラブまたは地区を下に記載することができます。適宜提唱者のクラブや地区のロゴを使用することも認められます。地区補助金の場合は、クラブまたは地区のロゴを使用して、ロータリーの補助金を利用している一文を併せて記載するだけでも構いません。

## 【グローバル補助金のヒント：パートナーを探す】

プロジェクトのパートナーや奨学生の受入れクラブを探すには、委員長に送られている各地区の連絡先のほか、クラブ検索や公式名簿をご活用ください。人道的プロジェクトのパートナーを探す場合は、補助金に関するレポートやロータリーショーケースを活用して、過去にどのような活動をしているかなどを参考にして探すこともできます。

### ◆ [ロータリーショーケース](#)

パートナーを探しているグローバル補助金や掲載されている活動の情報から連絡を取ることもできます。活動のキーワードや、プロジェクトの状況で「計画中/グローバル補助金の共同提唱者を募集中」のチェックをつけて相手を探すことができるほか、実施地や地区で検索することもできます。

### ◆ 補助金に関するレポートを活用する

[My ROTARY](#) → 運営する → クラブと地区の運営 → [各種レポート](#)

実施地やプロジェクトの状況のレポートを利用して、過去の事例やそのクラブが実施したプロジェクトの情報を閲覧することができます。レポートの開き方や見方については[こちらのガイド](#)をご参照ください。

### ◆ My ROTARYの検索

My ROTARYを開くと右側にある、虫眼鏡のマークから、「検索」画面を開きます。

[「クラブ」検索](#)では、クラブ名や地名からクラブを探し、クラブ名をクリックすると表示される詳細情報に地区を確認することができます(地名検索では、例会場住所から最寄りのクラブが表示されます)。

[「会員」検索](#)(My ROTARYへのログインが必要、ロータリー会員のみ)では、役割、地区ガバナーやクラブ会長で会員の連絡先を探しメールを送ることもできます(公開している場合)。

### ◆ 奨学金のホスト地区を探すには

クラブ検索で、地区を確認し、[公式名簿](#)や地区の財団委員長や奨学金委員長に送られている各地区の委員長のリストを活用します。ホストクラブを探す依頼は、地区から地区にお送りください。

## ロータリー平和センター

### 【最新情報】

2023年2月よりロータリー平和フェローの申請の受付開始を予定しておりますが、チュラロンコーン大学のロータリー平和センターは、1年間の新しい修了証プログラムについて評価と見直しを行うため一時停止し、今年度の新規の募集は行わないことになりました。

ロータリー平和センタープログラムについては[こちら](#)

### <ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)

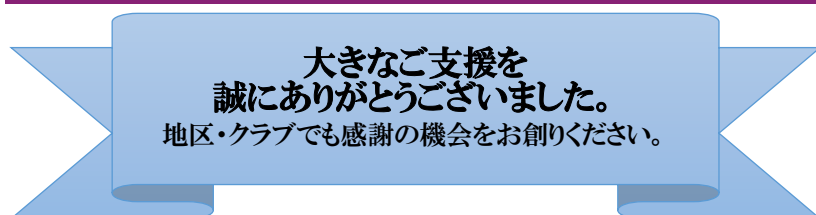
[ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)

[「END POLIO NOW」のロゴ](#)

[ラーニングセンター](#)の「公共イメージ」のコース内の、ロータリーのロゴやブランドのコースもご活用ください。

[クラブでSNSを活用するヒント](#)

## 大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)



2022年10月21日～11月7日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2590	神奈川	樋口 明	2670	坂出東	前田 直俊
2680	三田	安行 英文	2660	大阪西南	四宮 孝郎
2750	東京世田谷	高橋 茂樹	計 5 名		

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

### 今後の予定

11月～12月	<a href="#">ロータリー財団功勞表彰状</a>
1月～2月	<a href="#">ロータリー財団特別功勞賞</a>
1月8日～12日	国際協議会(米国フロリダ州オーランド)
2月23日	<a href="#">ロータリー創立記念日</a>
5月27日～31日	<a href="#">ロータリー国際大会</a> (オーストラリア・メルボルン)

国際ロータリー日本事務局財団室  
〒108-0073  
東京都港区三田 1-4-28  
三田国際ビル 24 階  
Email: [RIJPNTRF@rotary.org](mailto:RIJPNTRF@rotary.org)  
Tel: 03-5439-5805  
Fax: 03-5439-0405

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

ロータリー財団 2022-23年度 10月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,173	15.73	34,189.79	9,834.71	289.63		44,314.13	23%
2510	2,336	39.79	92,947.08	12,541.92	2,227.79		107,716.79	92%
2520	2,044	26.08	53,304.60	9,670.58	255.26		63,230.44	78%
2530	2,165	27.88	60,356.54	13,180.44	5,182.40		78,719.38	98%
2540	1,100	12.98	14,278.15	551.73			14,829.88	78%
2550	1,635	25.17	41,151.16	7,180.20	3,000.00		51,331.36	64%
2560	1,963	52.52	103,089.94	15,283.74	1,000.00		119,373.68	92%
2570	1,556	44.28	68,899.68	22,246.57	21,884.99		113,031.24	99%
2580	2,833	59.56	168,725.58	60,585.21	20,351.33		249,662.12	85%
2590	1,854	84.97	157,530.29	27,715.17	20,045.12		205,290.58	120%
2600	1,838	45.38	83,404.92	27,717.85	2,391.66		113,514.43	102%
2610	2,466	27.56	67,957.13	14,067.78			82,024.91	85%
2620	2,756	40.85	112,573.94	27,084.68	9,100.00		148,758.62	107%
2630	2,990	37.35	111,667.95	12,914.08	60,475.19	7,875.00	192,932.22	146%
2640	1,576	29.47	46,449.20	8,364.14	1,249.53		56,062.87	105%
2650	4,242	51.16	217,016.77	42,420.58	6,000.00		265,437.35	92%
2660	3,404	63.77	217,078.47	120,305.72	39,515.04	8,578.50	385,477.73	108%
2670	2,861	39.91	114,185.64	29,744.89	10,000.00		153,930.53	100%
2680	2,522	41.92	105,717.42	21,459.63	5,911.20	6,029.10	139,117.35	83%
2690	2,879	50.77	146,157.92	41,586.57	16,800.00		204,544.49	115%
2700	3,030	34.02	103,068.38	10,837.19		1,050.00	114,955.57	79%
2710	3,066	64.01	196,250.97	31,224.28	34,400.00		261,875.25	119%
2720	2,310	39.42	91,061.62	17,300.71	21,000.00		129,362.33	241%
2730	2,289	21.01	48,093.26	6,390.51	2,000.00		56,483.77	129%
2740	2,061	16.02	33,013.04	7,513.62	2,000.00		42,526.66	30%
2750	4,480	73.01	327,075.13	93,118.02	62,203.43	3,675.00	486,071.58	87%
2760	4,545	70.52	320,521.96	67,946.48	23,275.10	4,612.65	416,356.19	89%
2770	2,309	108.05	249,475.95	55,358.51	20,522.93	2,100.02	327,457.41	115%
2780	2,228	45.28	100,874.85	25,498.94	8,107.85		134,481.64	113%
2790	2,623	45.61	119,643.13	33,126.14	32,451.13		185,220.40	99%
2800	1,492	41.74	62,276.16	3,869.65	12,088.98		78,234.79	125%
2820	1,813	44.12	79,995.22	12,514.34	14,000.00		106,509.56	165%
2830	1,095	27.31	29,900.22	5,278.15	1,021.58		36,199.95	96%
2840	2,021	29.23	59,069.36	14,844.26	14,908.50		88,822.12	103%
<b>日本</b>	<b>82,555</b>	<b>46.48</b>	<b>3,837,001.42</b>	<b>909,276.99</b>	<b>473,658.64</b>	<b>33,920.27</b>	<b>5,253,857.32</b>	<b>97%</b>
<b>世界</b>	<b>1,166,331</b>	<b>28.80</b>	<b>33,595,978.10</b>	<b>7,187,605.76</b>	<b>10,279,187.95</b>	<b>4,631,548.38</b>	<b>55,694,320.19</b>	
日本の割合	7.08%	-	11.42%	12.65%	4.61%	0.73%	9.43%	